

別紙標準様式（第6条関係）

会 議 録

会 議 の 名 称	令和5年度 第2回 枚方市食育推進計画審議会
開 催 日 時	令和5年8月28日（月） 開始時刻 15時 00分 終了時刻 16時 30分
開 催 場 所	枚方市役所 第3分館 3階 第4会議室
出 席 者	黒川通典会長、吉本優子副会長、田中和紗委員、 勝麻衣子委員、山中加奈子委員、石川裕子委員、 井筒知子委員、末岡妙子委員、山名美奈子委員
欠 席 者	井上努委員、富田丈滋委員、衣笠真佐美委員、
案 件 名	(1) 「第4次枚方市食育推進計画（案）」の概要について (2) 「第4次枚方市食育推進計画（案）」における指標の目標値について (3) 「第4次枚方市食育推進計画（案）」の第5章（基本方向の具体的な展開）について (4) その他
提出された資料等の名称	・資料1：第4次枚方市食育推進計画（案）の概要 ・資料2：第4次枚方市食育推進計画指標一覧（案） ・資料3：第4次枚方市食育推進計画の目標値設定について（案） ・資料4：第4次枚方市食育推進計画 第5章（案） ・資料5：今後のスケジュール等（案） ・別紙：令和5年度 第2回 枚方市食育推進計画審議会の案件に係るご意見・ご提案（回答様式）
決 定 事 項	1. 第4次枚方市食育推進計画（案）について審議した。 2. 第4次枚方市食育推進計画（案）について、今回の意見を基に素案の検討を行い、次回の審議会で引き続き審議を行うことを決定した。
会議の公開、非公開の別及び非公開の理由	公開

会議録の公表、非公表の別及び非公表の理由	公表
傍聴者の数	0人
所管部署 (事務局)	健康福祉部 健康寿命推進室 健康づくり・介護予防課

審議内容	
黒川会長	それでは、定刻となりましたので、「令和5年度 第2回 枚方市食育推進計画審議会」を開会します。開会に先立ち、事務局から委員の出席状況並びに傍聴希望者について報告をお願いします。
事務局	本日の審議会は、委員12名中、9名が出席しており、過半数に達しているため、枚方市付属機関条例第5条3項に基づき、本会議が成立していることを報告いたします。次に、本日の傍聴希望者はございません。
黒川会長	それでは、案件1「第4次枚方市食育推進計画(案)」の概要について、事務局から説明をお願いします。
事務局	事務局から案件1について、説明を行った。(資料1)
黒川会長	先ほどの事務局の説明に対して、ご意見等ありますでしょうか。
黒川会長	3ページに「Sample」と記載されているが、どういった意味なのでしょう。
事務局	記載している内容は、決定しているものではなく、このような内容を記載していきたい旨を示しています。
黒川会長	わかりました。他にご意見ある方はいらっしゃいますでしょうか。
山名委員	「Sample」部分について具体的に意見したいと思います。基本方針2の「食中毒の予防対策の普及・啓発」について、普及・啓発ということであれば、市内の小中学生を対象に標語を募集したらどうでしょうか。食中毒って何やとか、どうしたら予防できるのかなど

事務局	<p>一生懸命考えてくれると思います。</p> <p>ご意見ありがとうございます。この「Sample」の箇所については、現計画の期間内で取り組んだ内容を記載する箇所となっています。ご提案いただいた内容については、次期計画の取組の参考とさせていただきます。</p>
吉本副会長	<p>基本方針1「若い世代を中心とした食育」の対象として、「市内の保育所（園）・幼稚園・認定こども園等、小中学校」向けの実績を記載されていますが、高校生や大学生も「若い世代」に含まれると思います。どのように取り扱うのでしょうか。</p>
事務局	<p>現在、高校生に対しては、希望する高校にのみ情報提供を行っている状況ですが、追記したいと思います。</p>
黒川会長	<p>4ページの「第4章」の部分について、新たな取組や枚方市独自のものはあるでしょうか。</p>
事務局	<p>計画を策定するに当たりまして、新しく取り入れている点につきましては、まず1つ目の「生涯を通じた心身の健康を支える食育の推進」において、「ライフコースアプローチを含む」ということを記載させていただいております。</p> <p>今までの健康づくりは、ライフステージごとの取組を進めてきた経緯がありますが、これからの健康づくりにつきましては、各ライフステージに応じた健康づくりの取組に加えて、「ライフコース」、いわゆる人の人生を経時的にみるといった観点からの取組を記載する予定としています。現在の国（農林水産省）の食育推進基本計画の中では、あまり明確に記載されておらず、厚生労働省が策定している「健康日本21」の取組を少しここで加えさせていただいているところが1つの特徴となります。</p> <p>もう1つの特徴としましては、3つ目の「食育に関する環境の整備について」になります。今の国の食育推進基本計画の中では、重要項目の3つ目としてデジタル推進についてが記載されております。しかしながら、食育に関する環境の整備という形で明確に記載されていないというところから、今回、社会とのつながり、無理なく取り組む情報の提供、いわゆる国（厚生労働省）の健康日本21</p>

黒川会長	<p>の考え方を取り入れ、食育についても食育に関する環境の整備という項目を入れております。</p> <p>以上、2点が大きな特徴となります。</p> <p>ありがとうございました。「ライフコースアプローチ」等の新たな取り組みが行われるとのことでしたが、ほかにご意見ある方はいらっしゃいますか。</p>
末岡委員	<p>第4章において、「排泄サイクル」について、もっと大きく取り上げてもらえればと思います。「排泄サイクル」は「生活習慣病予防」、「歯と口腔」や「食の安全・安心の確保」と並ぶくらい重要なことだと思います。単なる願望に留めても結構ですが、そのような印象を持ちましたという意見です。</p> <p>また、3ページに「食育カーニバルを開催」とささやかに記載されていますが、ここ2年ほどはオンライン形式で実施しており、より多くの方に参加いただくことができるなど、とてもよい形で開催できていたかと思しますので、もう少し詳しく記載してもいいのではないかと思います。</p>
事務局	<p>食育カーニバルについては、今後も続けていきたい活動のひとつでもありますので、もう少し強調するなど記載内容を検討していきたいと思っております。排泄サイクルの記載については検討させていただきます。</p>
黒川会長	<p>いくつかご意見もありましたが、内容についてはおおむね了承ということで次の案件に進みたいと思っております。それでは、案件2「第4次枚方市食育推進計画(案)」における指標の目標値について、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>事務局から案件2について、説明を行った。(資料2、資料3)</p>
黒川会長	<p>ありがとうございました。先ほどの事務局の説明に対して、ご意見等ありますでしょうか。</p>
末岡委員	<p>先ほども排泄についてお願いいたしました。排泄に関する事について、アンケート等で調査を行ったことはあるのでしょうか。</p>

事務局	<p>また、排泄については、排泄がちゃんとなされているかということは健康の大きな指標になると思います。食べるということと出すことはセットですので、指標の一つとして設定を行うことはできないでしょうか。</p> <p>排泄については、指標として設定できるようなデータがあるのかは不明ですが、排泄の頻度等は個人の生活リズムとして、個人差があるのではないかと考えています。ただ、委員のおっしゃれるとおり、しっかり食べて、しっかり出すことは、重要なことであると思いますし、生活リズムを整えることは大切なことですので、文面の中で触れられればと思います。</p>
末岡委員	<p>長期間、排泄がないというのは絶対に不健康な状態だと思いますし、生活リズムというのは、子どものときに出来上がるものだと思いますので、その点を考慮した記述になっていくことを望んでおります。</p>
黒川会長	<p>他にご意見等がある方はいらっしゃいますか。</p>
山名委員	<p>意見ではなく質問なのですが、項目 24 に「①市内事業者」や「②ひらかた健康優良企業」と記載されていますが、ひらかた健康優良企業について詳しく教えていただけますでしょうか。。</p>
事務局	<p>「ひらかた健康優良企業」とは、本市独自に「ひらかた健康優良企業」の登録制度を設け、登録事業者に対して、健康講座の講師派遣や健康づくり、健康経営に関する情報提供などを行い、市内事業者による従業員の健康づくりの取組を支援する事業の一つとなっております。</p>
山名委員	<p>それでは「①市内事業者」というのは、「ひらかた健康優良企業」の登録はしていないが、食育の活動を行っている事業所ということなのでしょうか。</p>
事務局	<p>今回のアンケートは、「ひらかた健康優良企業」に登録している事業者と登録していない市内事業者それぞれにご協力をいただき、両者の回答状況を分けています。アンケートの内容としましては、</p>

	<p>社員食堂、仕出弁当の費用の補助等による健康に配慮したメニューの提供や管理栄養士等による栄養指導、相談窓口の設置等、食生活改善に向けた取組等を行っているかどうかについて、聞いております。</p>
吉本副会長	<p>山名委員の質問に付け加えるのですが、市民が読んだときに同じような疑問が生じる恐れがあるので、注釈を入れるなどわかりやすくする必要があるのでないかと思えます。</p>
事務局	<p>「ひらかた健康優良企業」につきましては、資料4、22ページの本文中に注釈を付け加えていますが、資料2についても一覧表として本文に掲載する際に同様の注釈を付け加えたいと思えます。</p>
黒川会長	<p>井筒委員は何かご意見ありますか。</p>
井筒委員	<p>今回、新しく追加された項目25にある「子ども食堂の開催箇所数」ですが、個人的なイメージですが、継続が大変なのではないかと思っています。開催箇所数を増やすこともいいと思うのですが、地域の人の認知度、子ども食堂を知っているかということを確認できればいいのかなと思います。先日、地元の公園に朝から夜までいる子どもいたので、話を聞くと「朝ごはんも昼ごはんも食べれてないねん」と言っていました。それを聞いて子ども食堂を紹介したのですが、そういうことを知っている人が増えれば、そのような子どもたちも喜ぶのではないかと思います。</p>
事務局（こども青少年政策課）	<p>子ども食堂につきましては、ご指摘のとおり、様々な方に知っていただくことが大事だと考えています。各年度に1回ではありますが、枚方市コミュニティ連絡協議会へトライアルの紹介を含めて説明をさせていただいているほか、各学校校長会にも資料提供をさせていただいて、各学校から紹介いただけるようにしています。おっしゃっていただいた認知度に関する指標等は把握していない現状ではありますが、引き続き、周知に取り組んでいきたいと考えています。</p>
田中委員	<p>項目17「郷土料理や伝統料理を月1回以上食べている人の割合」ですが、資料4にて、郷土料理については、例が挙がっており、わ</p>

	<p>かりやすいものとなっていますが、伝統料理については例がないため、どんなものかを指しているのかイメージしづらいと思うので、伝統料理についても例を挙げる方がわかりやすくなるのではないかと思います。</p>
事務局	<p>ご意見ありがとうございます。ご意見のとおり、具体的な例を記載してわかりやすくしていきたいと思います。</p>
黒川会長	<p>勝委員は何か意見はありますか。</p>
勝委員	<p>田中委員と重複するところがありますが、どのようなものが郷土料理なのかということや、郷土料理そのものがわからないと思うので、SNS やイベントを通じて周知を行うと記載されていますが、具体的なイベント名などが書かれているとわかりやすいのではないかと思います。</p> <p>また、項目 16「災害に備えた食品の備蓄をしている人の割合」についても、詳細は難しくても備蓄のポイントなどを記載しているとわかりやすいのではないかと思います。</p>
事務局	<p>資料 2 の一覧表は本編にも記載する予定としていますので、市民がわかりやすいように記載内容を検討したいと思います。</p>
黒川会長	<p>山中委員はいかがでしょうか。</p>
山中委員	<p>私が気になったところは、皆さんからご意見を出していただいたので、今は特にございません。</p>
石川委員	<p>私も皆さんが意見を言っていたので、目標項目に関する部分については、特にありません。資料 4 の内容については、この後の案件になるかと思しますので、そこで出てきたらまたお話しさせていただきます。</p> <p>ただ、感想としましては、昨今の SDG s、持続可能な社会というところと関連付けている点において、項目 20 の「食品ロスを軽減するために取り組んでいる人の割合」は、非常に大切だなどと思います。現状値は 76.6%ということですが、もっと上がればいいと思いますし、2030 年のことも目指してこれを作られたんだと感じ、素</p>

末岡委員	<p>敵だなど思っております。</p> <p>アンケートの実施方法についてですが、例えば小学生、中学生などに1日3食食べられているかというアンケートであれば、給食がある時期とない時期で分けて実施するべきだと思います。枚方の給食は伝統食や郷土食も取り入れており、栄養バランスにも配慮されているので、バランスの良い給食を1食でも食べられていればいいのですが、給食がない時期はどういう状況なのだろうかということが気になります。また、項目10の「1日のうちに2食以上、主食・主菜・副菜をそろえた食事をしている若い世代の割合（20～30歳代）」についても、大学生や実家にいる人、実家を出ている人など個々の生活環境によって大きく変わるかと思しますので、そういった背景がわかるような形でアンケートを取っていただくと、課題が把握しやすく今後の施策の改善につなげることができると思います。1日1食も食べれていないような人たちに対して、いろんなことが改善できるような指標やアンケートの実施方法を考えていただければと思います。</p>
事務局	<p>ご意見ありがとうございます。次回のアンケートは次期計画の中間評価時になりますが、可能な限り、回答者の背景も含めて聞けるように検討していきたいと思っております。もちろんアンケート内容については、審議会に諮らせていただきますので、ご意見を伺えればと思います。なお、市民アンケートについては、属性として性別、年代、職業等を回答いただいております。今後の計画推進にあたり、そのようなデータも参考にして進めていきたいと考えています。</p>
黒川会長	<p>他にご意見ありますでしょうか。</p> <p>ないようでしたら、事務局は委員の皆様から頂いた意見を基に内容の検討をお願いします。この件についても承認とさせていただきます。</p> <p>それでは最後になりますが、案件3「第4次枚方市食育推進計画（案）」の第5章（基本方向の具体的な展開）について、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局 黒川会長	<p>事務局から案件3について、説明を行った。（資料4）</p> <p>ありがとうございました。先ほどの事務局の説明に対して、ご意</p>

黒川会長	見等ありますでしょうか。
事務局	最後の「デジタルを活用した情報提供の充実」については、目標値はないが、モニタリングしつつ、推進していくということによりよいでしょうか。
黒川会長	ありがとうございます。他にご意見等ありますでしょうか。
末岡委員	<p>「デジタルを活用した情報提供の充実」について、現状・課題のところに『「入手・理解・活用」することができるような能力を身につける必要があります』と記載しています。今情報があふれかえっている中で、要は情報リテラシーを身につけるといふことかと思いますが、それは最初にくるような一番大切なところだと思います。そして、枚方市が情報提供を頑張りますというように見えるのですが、本当にできることなのでしょう。そこで、何よりも、情報リテラシーが一番だということに軸足を置いていただけたらと思います。</p> <p>また、健康優良企業についてですが、「枚方市役所」も企業のようなものだと思いますが、市役所の実態はいかがでしょうか。</p>
事務局	健康優良企業についてですが、枚方市においても今年度、経済産業省の「健康経営優良法人」の認証を受け、市役所として健康経営に取り組んでいるところです。先ほどから話題に出ている「ひらかた健康優良企業」は、本市の健康づくり・介護予防課が枚方市内の登録事業者健康経営を行う支援を行っていますが、枚方市役所としても健康経営に取り組まなければいけないだろうということで職員課を中心に認証を受け、取り組んでいるところです。
事務局	情報リテラシーに関する点については、ご指摘のとおりかと思っておりますので、記載内容を検討していきたいと思っております。
黒川会長 田中委員	<p>ありがとうございます。他にご意見ありますでしょうか。</p> <p>7ページ、項目10に関する部分ですが、（現状・課題）に「大学</p>

	<p>等関係機関と連携の下」との記載がありますが、以前、大学の食堂で低価格で朝食を提供することで学生が集まり、しっかり朝食を食べることで1時間目の授業を受けることが促進されたというニュースを拝見いたしました。枚方も大学が多く、学生も多いですので、そういったアプローチをしても面白いのではないかと思います。</p> <p>また、17ページの項目17に関する部分で、「本市の郷土料理について「全く知らない」市民は60.4%」となっていますが、幼少期から枚方で育った人は給食などで郷土料理に触れることで認知度が高いと思いますが、就職や転勤などで枚方市に来られた方は触れる機会がないため、認知されにくいのではないかと思います。例えば、市内のスーパーや商店に郷土料理に使われる食材の旬の時期にPOPを出して紹介してもらするなどしてもらえれば、そういった方でも目に触れる機会が作れるのではないかと思います。</p>
事務局	<p>ご意見ありがとうございます。次期計画の取組の際には、参考とさせていただきます。</p>
黒川会長	<p>大学の食堂による朝食提供については、実態を調査させていただいて、食育の推進に寄与することがわかりましたら、進めていきたいなと思います。</p>
石川委員	<p>17ページの日本の伝統的な和食文化の保護と継承というところで、昨今グローバル化が進んでおり、インバウンドの方もたくさんいらっしゃいます。私たち学校でもルーツが日本でない方もたくさんいらっしゃいますので、パンやパスタなど様々な食のダイバーシティがある状況です。そのなかで枚方の郷土食や日本の和食文化は継承していかななくてはいけない一つの文化理解の側面でもあります。併せて、日本型食生活、和食のよいところは栄養価の側面がいいというところですが、取組の方向性の中で「日本型食生活や本市の郷土料理・伝統料理について、次世代へ伝えていくよう働きかけが必要である」と理由が記載されていないかと思います。栄養価の面で和食はとても優れている点や文化理解の側面から継承していくという理由づけがはっきりすると分かりやすいかと思います。</p>
事務局	<p>非常に大切な視点からのご意見、ありがとうございます。いただ</p>

黒川会長	<p>いたご意見を反映して記載していきたいと思います。</p> <p>そのほか、気づかれた点やご意見はありますでしょうか。</p>
山名委員	<p>減塩することが大切だということは知っている人は多いのですが、取り組んでいる人というのは少ないのが現状です。単身世帯や高齢世帯などの料理をすることが大変な人は市販の惣菜を利用することが多いですが、味付けは濃いものが多いです。現実的に難しい問題ですが、スーパーやコンビニへ薄い味付けの惣菜を提供するように市からアプローチできればと思います。また、その際には、しっかり減塩を考えたメニューだということを宣伝してもらえれば買う人がそれを選ぶのではと思います。</p> <p>それと小学校では食育の時間があると思いますが、中学校ではされているのでしょうか。</p>
石川委員	<p>現状としては、小学校においては、栄養教員が配属されている学校は、当該教員が各教室を回って授業を行っています。配属がない学校では他校の栄養教員が行って授業をしたり、その授業を見学した先生が食育の授業を行うなどしています。このように小学校においては、食育の時間が確保できるというところがあります。</p> <p>中学校においては、家庭科の中での食育という形になります。食育については、家庭科の先生が食育の授業を行う場合、あるいは小学校所属の栄養教員が出前授業という形で指導する場合の2パターンとなります。</p> <p>おっしゃるとおり、中学校の食育も充実させていくというのは、家庭科の教科の中での一つの方策になってくるかと思います。</p>
山名委員	<p>朝食の欠食が中学生になると増えてくるという現状から、朝食が大事だということをしっかり中学生にも教えてもらいたいという気持ちでお尋ねしました。</p> <p>それと栄養バランスのとれた食事ということで、学生が考えた栄養バランスの取れた弁当を販売するというようなニュースをよく耳にしますが、黒川先生の大学では枚方市内のコンビニ等と連携して、そのような取り組みはされているのでしょうか。</p>
黒川会長	<p>取組として、学内食堂については、学生が野菜を豊富に使ったメ</p>

山名委員	<p>ニューを考えて提供するという事は行っていますが、コンビニとなりますと先方との調整が難しいところがあります。例えば、京阪百貨店などは京阪沿線の大学とコラボして取り組みを行っており、京阪百貨店がつなぎ役として、様々な業者とコラボして健康的な食事の提供をしているため、大学として全くやっていないということはない状況です。大学としてはいろんなことをやっていきたいと考えていますが、やはり先方との利害が一致しないと進まないというところで、その調整をしながら取り組んでいるところであり、今後も広げていければと考えています。</p> <p>ぜひ、枚方市内のスーパーやコンビニで広げていただければ、自然と健康な食事になっていくのではないかと思います。</p> <p>それと食事の時間、職場で昼の休憩をしっかりと確保できているのか、ということは大事なことだと思っています。仕事に追われて、昼食をパパッと済ませてしまう人がすごく多いと思うのですが、これは個人の問題ではなく、事業者がその時間を確保しなければならぬと啓発していただければと思います。また昼食だけではなく、残業の際にも同じことだと思っています。私が栄養指導をするなかで、残業により帰宅が22時とか23時になる方が残業を始める前に食事を摂らないのですかと尋ねると、食べると上司に叱られると答える方が多いです。たとえ30分でもいいから、残業に入る前に食事を摂る時間を確保してもらえたらありがたいなと思います。国全体が抱える問題でもあると思いますが、枚方市から頑張って事業者に伝えていただければと思います。</p>
黒川会長	<p>井筒委員は残業が必要になった時の食事をどうしているかなど、この点について、何か意見はありますか。</p>
井筒委員	<p>社会人でも家庭を持たれている方は家族と一緒にという方もいらっしゃるでしょうし、私もそうですが、家族が食事を作ってくれているご家庭だと、ちょっと我慢したりすることはないでしょうか。私の場合は個人の事情ですので、会社から駄目といわれていることはないです。最近、会社で働かなければならないという考え方から在宅勤務やコワーキングなど働き方も変わり、時間の使い方も社員が自由に決めることができる会社も増えてきていると思いますので、そういった事案は少なくなっていると思います。</p>

黒川会長	<p>昼食や残業時の食事時間については、作業効率などもあるかと思いますが、何らかの形で啓発していいければいいのではないかと思います。案件3についても多くの意見をいただきましたが、概ね了承とさせていただきます。</p> <p>それでは、最後に案件4「その他」について、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>事務局から案件4について、今後のスケジュール等の説明を行った。（資料5）</p>
黒川会長	<p>ありがとうございました。ただ今の説明にご質問等はありませんでしょうか。</p> <p>特にないようですので、「令和5年度第2回枚方市食育推進計画審議会」を閉会とさせていただきます。本日は、ありがとうございました。</p>